(社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

公 式 記 録

平成22年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　準決勝【 38 】

主審署名：森 内 和 也

日 時	2010 年 11 月 3 日（水） 13 ： 05 キックオフ			会 場	アスパ五色 メイングラウンド		
天 候	晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝（○）・人工芝・クレー	状 態	良好
試合形式	80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有						
ﾏｯﾁｺﾐｯｼｮﾅｰ	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司	記 録	田坂 昌彦 ／ 田村 孝次	観 衆	500 人
主 審	森内 和也	副審1	鵜野 敬二郎	副審2	前田 晃男	第4の審判員	鈴木 義章

チーム名			得点		得点		チーム名
報徳学園高校 (kick off)	1	1	前半	0	0	市立西宮高校
		0	後半	0		
			延前			
			延後			
			PK戦			

PK戦：選手番号 ○× 先 ／ 先 ○×（記入なし）

交代No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	前半	後半	延前	延後	OUT時間	交代No.
	分					田島 昇太	3年	1	GK	GK	1	神部 公佑	3年					分	
	分					水野 有	3年	2	DF	DF	③	庄野 大貴	3年		1			分	
	分			1		吉川 拓穂	3年	4	DF	DF	4	中村 嘉文	3年					分	
	分					茨木 凌	2年	14	DF	DF	5	帷 智行	2年		1			分	
	分					村上 郡真	2年	16	DF	DF	6	指田 真宏	2年					分	
	分					松本 彰	3年	6	MF	MF	13	大道 壮毅	1年					HT 分	
	分					野尻 志遠	2年	19	MF	MF	7	難波 祐輔	2年		1			分	
	分			1	1	桜本 陸	3年	9	MF	MF	8	前野 俊哉	2年		1			分	
	64 分			1	1	冨士野 恭祐	2年	15	MF	MF	9	新井 友博	2年		2			分	
	分				3	奥村 慶之	3年	⑦	FW	FW	10	岡田 卓也	3年					分	
	分			4	3	福本 侑大	3年	11	FW	FW	11	後藤 寛太	2年		2			分	
	分					上野山 裕己	3年	12	GK	GK	12	中野 啄冶	2年					分	
	分					濱 晃大	3年	5	DF	MF	2	山口 駿太郎	2年					分	
	分					小西 祐樹	2年	3	DF	MF	14	岡田 大知	1年					分	
	分					藤堂 啓太	1年	25	DF	FW	15	池上 泰平	2年					分	13
	分					前田 恵汰	2年	17	MF	DF	16	木村 浩章	2年					分	
	分					竹中 偉吹	1年	24	MF	DF	17	伊藤 駿介	2年					分	
	分					小池 実喜彦	3年	8	MF	FW	18	秋山 諒太	1年					分	
	分					岡田 貴信	3年	13	FW	FW	19	平岡 瑞穂	1年					分	
15	分					磯岡 優斗	2年	10	FW	FW	23	北川 瑛久	2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					15			7	8	シュート	0	8			8	55 分	警告	4	中村 嘉文	反ス
分					7			4	3	GK	5	4			9	分				
分					5			3	2	CK	2	2			4	分				
分					13			6	7	直接FK	6	5			11	分				
分					0			0	0	間接FK	3	0			3	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
31 分	報徳	11	福本	1 － 0	右 CK ⑦ ∩ 中央 × ⑪ S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属【 県芦屋・小野 】　氏名【 井上・笠原 】

阪神地区同士の対決となった準決勝は、ともに攻撃力のあるチームの戦いとなった。GK①田島・DF④吉川を中心に⑦奥村・⑪福本の攻撃力を生かす報徳に対し、市西宮はボランチ⑦難波を起点に両サイドを使った攻めで⑩岡田・⑪後藤へボールを送りチャンスを作る。一進一退の前半、ペースを握りかけた報徳が３１分ＣＫからの混戦を⑪福本が押し込み先制点を挙げた。

後半、市西宮ＦＷ⑮池上を投入⑪後藤を左サイドにおいて、立ち上がりからペースをつかもうとする。後半２分⑨新井のミドルシュートがポストをたたくもゴールならず。その後も⑪後藤が報徳ＤＦラインの背後へ飛び出し、何度もチャンスを作るが得点を奪えない。報徳は、押し込まれながらも時折鋭いカウンターを仕掛けるが、市西宮のＣＢ③庄野④中村が追加点を許さない。見応えのある両チームの攻防は、１－０で報徳が逃げ切り決勝へ駒を進めた。

［備 考］